

今昔物語

写真で振り返る

その45

梶鼻周辺

鵜殿地区



昭和39年

提供：梶屋喜一氏



現在

今月は昭和39年に撮影された鵜殿地区の梶鼻周辺の写真をご紹介いたします。

この写真を撮影した、梶屋喜一さんにお話を伺ったところ、旧国道42号線が整備されたところに平嶋の高台から撮影したものだそうです。

写真左側には、旧国道42号線のほか、JR紀勢本線のレールが見えます。また、住宅が立ち並んでいます。これらの住宅は村営住宅として旧鵜殿村が昭和30年ごろに整備したものだそうです。

写真右側には松原が広がっており、その奥にはポツポツ小さなものが見えますが、これは防風林とするために松の苗木が植えられていたそうです。また、当時は、この浜で海水浴を楽しんでいたそうです。

この写真の旧国道42号線をはじめ、昭和30年代後半から、道路の舗装がどんどん進んでいき、それに伴い、マイカーを所有する人が増えていきました。

昔の風景写真を募集します

広報きほうでは、みなさんのお宅に眠っている昔なつかしい風景写真を募集します。本人またはご家族が撮影された、著作権を完全に保有されているものに限って、受け付けさせていただきます。このコーナーでご紹介させていただこうと思っています。詳しくは、役場企画調整課(☎33-0334)までお問い合わせください。

つむぎつむぎ

2年連続の総務大臣賞を受賞



広報担当 田中健太郎

新聞などで知っている方もいるかもしれませんが、広報きほう12月号が全国広報コンクール(町村の部)で特選(総務大臣賞)と読売新聞社賞を受賞しました。審査結果が届いたときは、驚きつつもうれしい気持ちで勝っていたのですが、時間が経つにつれて、あることが脳裏をよぎりました。そうです「取材」です。

僕は、いつもは広報担当として、取材をする側ですが、いざ自分が取材をされる側になると、緊張してしまい、1日6社ほど取材を受けたときは、何を話したか覚えていないくらい頭が真っ白でした。

しかし、何はともあれ、みなさんのおかげで総務大臣賞と読売新聞社賞をいただくことができました。本当にありがとうございます。これからも精一杯がんばりますので、応援よろしくお願ひします。

(夢は内閣総理大臣賞 田中健太郎)

登山道の整備



広報担当 大森菜央

企画調整課では、毎年登山道や案内板の点検の意味を込め、子ノ泊山に登るということで、私も覚悟を決め参加しました。

まず登山口から見えるゴツゴツした岩を登り始めて10分ほど経ったところ、「頂上まで行くのは厳しいのでは」という思いが頭をよぎるほど、過酷な道になりました。しかし、頂上に着くと、絶景が待ち構えており、感動と達成感で胸がいっぱいでした。また、周りの方は温かい言葉で帰りを迎えてくれました。

今回、特集された「滝」はパワーがもらえそうで魅力的なのですが、山道を歩くというだけで、まだ一歩を踏み出せずにいます。

(筋肉痛と温かい言葉に半べそをかけた 大森菜央)